

令和 4 年度

第 1 回一宮市子ども読書活動推進懇話会・会議録（要旨）

- 1 開催日時 令和 4 年 8 月 5 日（金）午前 10 時～11 時 23 分
- 2 開催場所 中央図書館 6 階 多目的室 1
- 3 出席者 懇話会委員：9 名（欠席 1 名）、事務局 7 名
- 4 欠席者 懇話会委員：1 名
- 5 議 題 (1) 一宮市子ども読書活動推進計画の成果について
(2) その他
- 6 開 会 (事務局が開会を宣言)
新任委員挨拶
「子ども読書のまち宣言」唱和（先導は副会長）
館長挨拶
会長挨拶
- 7 会 議 (要旨)
(事務局) 議題(1)について、進捗状況及び目標値、取り組み状況について説明。
(会長) 子ども読書活動推進関連事業における取り組み状況に、市図書館の役割として子どもに読んでほしい図書の情報発信の継続・強化というのがあります。ティーンズコーナーの設置、ヤングアダルトコーナーの常設について、中央図書館、尾西図書館、木曽川図書館、子ども文化広場図書館の実績が記載されていますが、年度を見ますとこの図書館もほぼ横ばいか増加しており、これは非常に良い結果だと思いました。これらの蔵書の選定は誰が最終決定をしているのかお聞きします。本件については冊数が多くて委託先との関連がある中央図書館でお答え願います。
(事務局) 図書の選定については、まず業務委託会社の各担当スタッフが中心になって行います。その後、選定した図書で良いか市へ話があり、最終的に購入する図書を市の職員が決定しております。
(会長) 最終決定は市が行っているということですね。わかりました。
(委員) 学校の図書購入費のことについてお伺いします。予算額が年々減額されていますが、学校図書館の整備・充実は 100 パーセントを超えております。現状として学校の図書館の本は非常に悲惨な状態になっているものがありますが、それでも廃棄せずに貸し出しています。数値としては良いのですが、現状は大変なのかなと思いますがいかがでしょうか。
(会長) 図書の購入費が年々減額になっているということを事務局に説明してもらい、その後で学校図書の現状を学校教育関係委員から説明していただきます。
(事務局) 学校の図書費の予算が年度ごとに減額になっているということですが、市全体で申し上げますと、市の予算には当然限りがありますので、図書費についても必要最低限のものを購入するよう努めてもらうという意味で、予算を減額しているのではないかと考えております。ここは図書館として予算要求していないので、担当部局へ確認します。その結果を次回の時になぜ予算が減っているのかということのを改めて回答させていただきます。

- (会長) 予算のことは説明があったように、図書館の図書購入費も学校の図書購入費も減額されています。ご理解をいただけたと思います。では、学校の現状の説明をお願いします。
- (委員) 学校では予算の範囲でいろいろ選書して購入しています。もう少し欲しいという気持ちはありますが、随時新しい本と入れ替えができています。廃棄については学校によりますが、自分が担当していた時にかなり廃棄しました。ただ、子どもたちが見る回数は当然多いため、本がすぐボロボロになってしましますが、図書委員さんや、今は司書さんが学校に来てくれるので、修繕の手伝いをしてもらっています。そのため、古い本ばかりが並んでいる学校図書館は減っていると思います。
- (会長) ありがとうございました。
- (委員) どこでも経済的に難しいでしょうが、本当に人気の本はひどい状態でもみんなが取り合うようにして読んでいます。コロナだからあまり外で遊べないので、いい意味では本に接する機会が増えています。そういう事も PR していただけたらと思います。よろしくお願いします。
- (会長) ほかに何かありますか。
- (副会長) 児童館、児童クラブで図書を購入したことになっていますが、予算は 0 円になっています。これはどのようにして購入したのでしょうか。
- (会長) 図書の購入費はどこの予算なのかという事です。
- (事務局) 児童クラブは全部が市の施設ではないので、市の予算は 0 円ですが、民間が運営しているところは民間の予算で購入しているのではないかと推測します。この部分は担当部局へ確認いたします。
- (会長) これについては、これからの掲載の仕方についても検討をお願いいたします。
- (事務局) 承知いたしました。
- (副会長) 進捗状況及び目標値内の地域の役割で、①児童図書資料の児童館・保育園への配布について、実績が令和 3 年度は大変低いとの説明がありました。受け取り辞退も増えているということで、これは蔵書自体が増えてきたので受け取りをしなくてもいいという内容だったと思います。私たちボランティアが児童館や児童クラブへ出向くことがあります。その図書の状況を見ると決して十分だとは思えないところがあります。児童クラブの先生が、図書館から除籍された本が配布されるが、私たちが望むようなものがなかなか入っていない。冊数的には配布されるが、子どもたちへ実際に手渡すということを考えるとどうなのかなということがあるという話をされたことがありました。この数値が下がってきた理由は、蔵書が増えている、子どもたちが手に取って読みたいという本が増えたからこのような結果になったとは思えないところがあったのでお伝えします。
- (会長) これについて事務局から補足説明はありますか。
- 以前ですと、市民の方からご家庭で読み終えていらなくなった本をいただき、それは新しい本なので除籍本と一緒に配布を行っていました。
- (事務局) 今はコロナのために一般の方から受け付けるということは中止しており、各図書館で除籍になった図書を児童館とか保育園等に配布しているのが実情です。確かに言われたように 2 年度と 3 年度を比べても、配布率が下がっており、これはコロナの関係もあると思います。3 年度の目標値は 100 パーセントとしておりまし

たので、程遠い数字にはなっております。4 年度も目標値を設定しておりますので、目標値を達成できるように努力していきたいと思っております。

- (会長) 何か少しずつアイデアを入れて頑張ってくださいですね。
- (委員) 児童館の書棚にこんな本がまだいっぱいあるということがあります。今の子どもに人気の本が少ないと言ってみえました。私たちも子どもたちに人気のある本というところから勉強しないといけないのですが、そのような実情があるということを見てもらえると良いと思いました。
- (会長) そのあたりも事務局には参考にしていただきたいと思います。それを除籍するわけにはいきませんが。
- (事務局) 人気本は借りていただくのがいいですね。
- (委員) 昨年度の事です、本会で話をさせていただいたおかげで講演会やボランティア育成講座を開催していただきましたし、わらべうたの会も子ども文化広場図書館で開催していただきました。今年度もボランティア同士の交流会、講演会とわらべうたは開催予定ということで準備をしております。
- (会長) 講演会、講習会、それから交流会ですね、このようなことはボランティアさんの士気に大きく影響するものだと思いますので、引き続き事務局にはフォローをよろしくお願いします。
- (事務局) 可能な限り実施する方向で進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
- (委員) 私は主にブックスタートに関わらせていただいておりますが、接し方により赤ちゃんは本にすごく興味をもってくれますので、本当にブックスタートというのは良いきっかけ作りになる活動だと改めて感じました。
- (会長) ブックスタートについて事務局から簡単に説明していただき、少し話を進めましょうか。今はどのような本を配布していますか。
- (事務局) ブックスタートは、中・西・北保健センターで毎月 2 回程度実施しており、4 か月児健診にあわせて図書館から絵本を 1 冊お渡しする事業です。現在は、『じゃあじゃあびりびり』という絵本を 1 冊お渡ししています。兄や姉がいて、先に受け取っている場合は、他の 5 種類の絵本の中から選んでいただいております。その 5 冊とも持っている方もいるかもしれませんが、1 冊は必ず選んでもらっています。
- (委員) 本当にブックスタートっていうのは子育ての中でとても大事なことで、図書館とコラボして一つでも何か心が豊かになれるような、大きくなってくれるといいというのがボランティアや主任児童委員の皆さんの中にあります。本当によろしく願いしますというか、言い方が変ですけども、一宮市にとって大事にしていきたい事業だなと思います。
- (会長) ブックスタートについては、引き続き大事な事業なので、各図書館のほうで率先して事業を進めていただくということでよろしいですか。
- (委員) ブックスタートは大事に扱っていただきたいと思います。
- (会長) 学校と図書館との連携というのは、これから一番子ども読書活動の推進に大きな力となるわけですが、お気づきの点などがありましたらお願いできますか。
- (委員) 市は子ども達のためにすごく良い活動をしていただいていると重々思っています。担当部署は違うのですが、司書さんに学校へ来てもらっています。小学校は基本、週に 3 日、中学校は週に 2 日なのですが、要望というか希望とし

ては小学校には毎日来てもらえると助かると思います。中学校はなかなか子どもたちが忙しくなってくるので、読書というと小学校ほどはなかなかできない状況なので読書タイムを作っています。小学生に比べて中学生のほうがぐっと深く本に入り込んでくる子たちもやはり増えてくるということもあるので、中学校にもできるだけ来てもらえると助かると思います。以前、自分が担当していた時に司書さんの資質向上のために研修などを行いました。今は担当部署が別なので難しいところはあると思いますが、中央図書館の司書さんとの連携をとる事もやっていただけると良いと思います。

(会長) 組織変更がありましたね。

(事務局) 今は活力創造部です。

(会長) 教育委員会ではないですからね。

(委員) 以前は同じ部署だったのでいろいろお願いをしたことがあります、年に 1 回くらい研修という形で図書館の現状はこうなっていますとか、今はこういう資料が流行っていますということを、中央図書館の方が情報は早いと思うので、どんどん学校へおろしていただきたいです。

(会長) これは可能な話ですね。図書館と学校との交流の中での情報交換。これについては、今後何か新しいことを予定しているということはないですか。司書さんに学校へ行ってもらおうというのは難しいですか。

(事務局) 図書館自体も司書の資格を持っている職員は限られておりますので、なかなか学校に直接訪問させていただくことは難しいと思います。

(会長) 学校司書さんは司書資格を持った方を採用されているということですね。

(委員) そうです。

(会長) これについてはこれからの講習会、情報交換ということでは資料の提供だとか、それも交流の一つだと思いますので、その辺りを考えていただきたいです。

(事務局) できる範囲でやらせていただこうと思っております。

(会長) いろいろとご意見が出ましたがよろしかったでしょうか。

ではご意見も出尽くしたということで、議題の 1 は活動推進計画の成果ということでしたので、成果を超えてこれからの在り方、進め方についても討議をしましたので、これはまた成果があったと考えております。では次の議題に入らせていただきます。その他について何か事務局からありますか。

(事務局) 議題 2 につきましては特にございません。

(会長) それでは本日予定しておりました議題についてはすべて終了いたしました。大変な時期ではありましたが長時間にわたりご審議いただき、忌憚のないご意見をありがとうございました。これをもちまして本日の会議を閉じさせていただきます。